

音楽を心から愛する人々の
会員制サロン

Classica

久元 祐子 ピアノ リサイタル ～モーツァルト ピアノ・ソナタの魅力～

●2019年10月13日(日)

●開場 13:00 開演 14:00 ※13～14時はドリンクタイムとさせていただきます

●料金(1ドリンク付) ¥3,000

●会場 クラシカ 〒659-0093 芦屋市船戸町3-24-1 MTビル3階

●チケット 電話受付のみ完全予約制 0797-25-2556 (12:00～18:00 水・木定休日)

※お問い合わせ・ご予約は直接クラシカあてにお願いします ※定員になり次第、締め切らせていただきます

～♪～Program～♪～

♪ハイドン : ピアノ・ソナタ ヘ長調 Hob.XVI/23

♪モーツァルト: ピアノ・ソナタ ヘ長調 KV280

♪ハイドン : ピアノ・ソナタ 変ホ長調 Hob.XVI/52

♪モーツァルト: ピアノ・ソナタ 変ロ長調 KV570

♪モーツァルト: ピアノ・ソナタ 二長調 KV576

～Profile～

東京藝術大学(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。
ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィル
ハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケ
ストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。音
楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語
にも紹介される。ブロードウッド(1820年製)ベーゼンドルファー(1829年製)、
プレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などのオリジナル楽器を所蔵。歴
史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲
家が求めた響きと美学を追及する。

ショパン生誕200年記念年には、全国各地でプレイエルを使つての演奏会に出演。
軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年
ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、日本人で
唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。

2012年、14年、17年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。
これまでCD13作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞CD特薦盤、レ
コード芸術特選盤に選ばれ「ベートーヴェン”テレーゼ””ワルトシュタイン”」
はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評
価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「モーツ
ァルトはどう弾いたか」(丸善)など多数。

国立音楽大学教授、日本ラトビア音楽協会理事、<http://www.yuko-hisamoto.jp/>



Photo:K.Sakayori

会員制サロン Classica
JR 芦屋駅より北へ徒歩 2 分
阪急芦屋川駅より南東へ徒歩 10 分
駐車場はございません

